がん検診啓発強化

「受診率向上に向けて」座談会

県民も健康意識を

1977年以降、県内の死亡原因の第１位となっている「がん」。にもかかわらず、検診受診率は20～30%台と低迷、国が掲げる目標50%にほど遠いのが現状だ。来年９月には「がん征圧全国大会」が高松市で開催されることが決まっている。ピンクリボン運動に代表されるがん検診の啓発活動をさらに後押しし、〝県民総受診〟に向け、それぞれの立場から現状や課題などを語ってもらった。

■参加者
浜田　恵造氏（県知事）
森下　立昭氏（ピンクリボンかがわ県協議会代表、県総合健診協会会長、県医師会会長）
竹内　麗子氏（香川経済同友会副代表幹事）
中島　保子氏（国際ソロプチミスト高松会長）

知事　精度高め早期発見努力

浜田恵造知事

先駆けピンクリボン運動

―がんの啓発運動の先駆けという形で、ピンクリボン運動は始まったが。

森下　香川県では、2005年10月に医療関係者や各種女性団体、患者会などが発起人となってピンクリボンかがわ県協議会を立ち上げ、スタートイベントで〝ピンクリボンＤＡＹ〟を開催した。以後、一番大事なのは地域ぐるみの啓発だということで、一般市民を巻き込んで理解を深める取り組みを進めてきた。

―国際ソロプチミスト高松も同協議会の発起人になっている。

中島　ピンクリボンかがわ県協議会の発起人になって以来、毎年乳がんについて勉強し、県内の各ソロプチミストクラブと協力して40歳以上の女性を対象にマンモグラフィ無料検診を実施してきた。

国際ソロプチミストアメリカ連盟には、女性と女児の生活向上のためのいろいろなプロジェクトがある。またクラブが立ち上げるプロジェクトが、地域や世界中の女性や女児の生活向上に良い影響を与えるものだと連盟で認められると資金援助が受けられる。私たちは、2006年、07年の２年間に１万５千㌦の資金提供を受け、クラブの奉仕資金を合わせて、県内で約600人の女性にマンモグラフィ無料検診を受けていただくことができた。これ以降、毎年ピンクリボン運動を奉仕活動の中心に据えて活動を続けている。

―がん検診の企業アクションに取り組んでいる企業もあるようだが。

竹内　企業アクションに加入している全国の企業は約650社。その中で香川県はまだ12社程度で、企業として出遅れが感じられる。がんの死亡率は現在では、脳卒中や心臓病、糖尿病を抜いてトップになっていて、特に団塊の世代は死亡原因の大半ががん。それだけでなく、子宮頸がんや乳がんにかかる人たちの年齢が若くなってきている。長期不況で、ただでさえ人員削減という厳しい状況において正規雇用の社員は企業健康診断を受けることができるが、非正規雇用者、中でも女性の検診にどのように企業が取り組んでいくかがこれからの重要な課題になる。

―最近の活動は。

森下　10月は厚生労働省が主催する「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」だ。昨年は、「県民健康大勉強会」で「正しい乳がん検診のすすめ」という講演の開催に協力したほか、コラボレーション企画として「ピンクリボン学園祭」を開催し乳がんの啓発を行った。また、乳がん検診がどれくらい普及しているかを知るための出口調査を医療機関に対しても実施している。

―検診車両も活躍している。

知事　県ではマンモグラフィ機器を搭載した検診車両の整備について支援したところで、このマンモグラフィ車両が県下一円を回って、一人でも多くの女性の方々に検診を受けていただきたいと考えている。今年度は協議会との共催で、乳がん検診に携わる保健医療関係者に対する講習会の開催を予定している。受診率を向上し、がん検診に携わる関係者の資質の向上、検診の精度も高めていきたい。それが、がんを確実に早期発見できる重要な手立てということで県も努力している。

対策条例可決、推進の機に

―日本でのがん検診の状況は。

森下　日本での乳がんの受診率は20～30%。欧米では70%、多いところでは80%を超えている。日本では理解がないというか、興味がないというか、私は大丈夫だという人が多い。受診率の高い国では、報奨金を設定するなどして一人一人に受診を促すさまざまな対策を講じている。

竹内　スウェーデン在住の友人からのメールによれば、行政担当者やボランティアの方たちが各家を回って検診を受けているかどうかチェックするという。そのため国民の意識も高くがん検診率は80%という高さとのこと。また、お隣の韓国では、以前は検診率が低かったが近年では行政指導と企業協力により一気に60%まで上がってきたという。私は３年前に、高松市の行財政委員に就任した折に予算書を見て驚いた。計上された予算では、がん検診受診率50%を目指すことは不可能と思い、大幅な増額提言を行なった。予算の増額だけでは受診率は上がらないが、それなりの予算がなければ啓発もできない。

社会的な環境整備重要　森下氏

県医師会会長の森下立昭氏

―県内の受診率は。

知事　香川県の現状をみると、がんによる死亡者数が第１位で全体の死亡者の約３割、3100人ほどががんで亡くなっていて、病気対策では一番深刻な問題となっている。がんは早期に発見すれば治る病気なのに、それがまだ浸透していないようだ。早期発見のためも、がん検診の受診率向上は重要な課題になる。香川県のがん検診受診率は、胃がんで30.1%（全国27位）、大腸がん27.5%（同13位）、肺がん27.0%（同19位）、乳がん23.6%（同27位）、子宮がん24.9%（同23位）という状況で目標の50%にはほど遠い。

―県としても受診率アップに向けてＰＲが大切だ。

知事　これまで、広報や公開講座、啓発活動などを実施してきた。21年度からは企業の支援を得て「がん検診受診率向上プロジェクト」を進めている。イメージキャラクターの「ソウキくん」を使ったラッピング電車やバスの運行、子どもたちから応募いただいた「がん検診メッセージ」の表彰のほか、啓発チラシの配布、シンポジウムなど展開してきた。さらに11月20日には、サンメッセ香川で啓発イベントの実施を予定している。会場では、香川県総合検診協会やいろいろな啓発団体の協力を得て、がん検診車両を展示、体験コーナーを設置するなどして、がん検診の重要性をＰＲしていきたいと考えている。

９月県議会でも、「香川県がん対策推進条例」が全員一致で可決された。この条例を、がん対策を県民一体となって推進するためのきっかけにできるのではないかと思っている。

早期発見なら治療は可能

―県内でもがんによる死亡者数は１位だが。

森下　以前は脳卒中や心臓病など循環器系の病気や感染症などが多かったが、衛生環境の改善や予防に対する意識が高まるにつれて感染症や循環器系の病気による死亡率が下がってきた。がんの原因は三つあって一つは食事や運動などの生活習慣によるもの、次にたばこによるもの、それから遺伝的素質によるもの。どのがんでも喫煙者のがんによる死亡の確率は非喫煙者よりはるかに高い。

一般健康診断に加えて、がん検診を受けられるような仕組みを構築しないといけない。会社勤めの夫は受けるけれど、奥さんは受けないというケースが非常に多い。また乳がん検診などは会社の検診に含まれていないことも多い典型的な例だ。受診環境を含めた効果的な方法を考える必要がある。

非正規、若年層対策を　竹内氏

香川経済同友会副代表幹事の竹内麗子氏

竹内　香川県は女性の就業率が高く、非正規雇用が多い。女性の場合、優先順位が一に子ども二に夫ということで、自分のことは最後になる。そのため、自覚症状が現れた時には、がんが進行しているケースが多い。家族と企業の幸せのためにも、何よりも自分の健康が一番という自覚を持つことが大切。

私は４年前にがんを患い、がん患者の現状について多くのことを勉強させて頂いた。入院している患者さんが若年化している。そして、その人たちが治療中に抱えこまなければならない育児、家事、治療費、生活費。若い人たちは多くの蓄えがあるわけでなく、大半が核家族ということもあり子どもたちをみてもらうにも両親に頼れない場合が多い。何よりも患者自身が治療に専念しなければならないのに、さまざまな不安で夜も眠れずに悩んでいる方たちが多い。こうした点を深くケアしていかないと、がんは怖い病気との先入観のため受診率向上推進対策も進まない。

―ただ、やはり無関心が多い。

中島　協議会が発足して今年で６年になるが、その間、毎年ピンクリボンランチョンセミナーの開催などの活動に取り組んできた。充実感はあるものの、受診率の向上にはなかなかつながらない。無関心の方がとても多いので、これを打ち破るためにどのような方法があるかと考えている。息の長い取り組みとしては、子どものころからの健康教育が必要ではないかと思う。香川県の子どもたちの健康教育の中に、乳がんの早期発見、早期治療の大切さを組み入れていただければと思っている。

知事　教育も非常に重要だと考えている。今度の条例では、がん対策の主体となって推進していく県の役割・責務はもちろん、県民の責務や保健医療関係者、各市町、事業者それぞれの役割について示されており、関係者全体の連携・協力が重要になる。加えて、「がん教育の推進」や「県民運動の推進」が盛り込まれている。県民の関心や理解を深めていくことが、教育や県民運動にとっては重要になる。

―国際ソロプチミスト高松は来年50周年を迎えるが。

中島　来年10月25日に認証50周年を迎える。この節目をピンクリボン運動の集大成にすべく、いろいろな案を練っているところだ。私たちは、ピンクリボン運動を始めた当初はとても元気だったが、活動がなかなか受診率向上につながらないため、年ごとに無力感を感じるようになってきていた。50周年を機に、この無力感を払拭できるような何かをやりたいと考えている。

子どもへの教育が必要　中島氏

国際ソロプチミスト高松会長の中島保子氏

森下　来年９月には、がん征圧全国大会が２日間にわたって高松市で開かれる。１日目は支部長会、検診や治療などの学術的なディスカッション、厚生労働省による国の施策的なもの、翌日は一般公開で著名人による講演などが予定されている。

―全国大会に向け受診率向上が命題だと思う。

森下　受診率50%は可能にしないといけないし、私はできると思っている。新聞などメディアによる情報発信は重要。うまく伝えることが出来ればより高い効果が得られる。ほとんどのがんは完治するが、いつ見つけるかが問題になる。一般的にがんの成長は遅く、10年ぐらいかけてようやくはっきりしたがんになると考えられている。大きくなる前の段階で見つける必要がある。毎年検診を受けていれば、ほぼ100%治療可能な段階でがんを早期発見できる。早く見つけるためにはまず、がんに対する正しい知識を持つことが必要で、がん検診対象年齢の人は、たとえ若くても定期的ながん検診を受けることが大切だ。

香川県のがん征圧イメージキャラクター「ソウキくん」

■国際ソロプチミスト高松

国際ソロプチミストは管理職、専門職の女性による女性と女児の地位と生活の向上を目的とし奉仕活動をしている国際的慈善奉仕団体。その中で国際ソロプチミスト高松は、国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョンに属し、現在17人の会員からなるクラブ。設立は国際ソロプチミスト東京に続いて1962年に、日本で２番目に認証され、来年認証50周年を迎える。

かがわに広がるピンクリボン運動
ピンクリボン運動は乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える運動です。

ピンクリボンかがわは、皆様のご支援により活動しています

朝日生命
明日の健康を考える 株式会社アスティス
AstraZeneca アストラゼネカ株式会社
Human Communication KAGAWA 香川印刷株式会社 高松市郷東町792 TEL.087-882-3338（代）
香川銀行 トモニホールディングス
香川県美容業生活衛生同業組合 組合立香川県美容学校 高松市松縄町1091-3 TEL.087-867-3510
香川トヨタ 高松市番町2丁目5番14号 TEL.087-851-7151（代）
生活協同組合コープかがわ
GEヘルスケア・ジャパン株式会社 高松市上之町1-1-1 TEL.087-866-4700
Coca-Cola 四国コカ・コーラボトリング（株）
JR四国 四国旅客鉄道株式会社 Shikoku Railway Company
ずっと永く 四国ろうきん 四国労働金庫 高松市浜ノ町72番地3号 TEL.087-811-8051
人から人へ情報・印刷コミュニケーション SEKI セキ株式会社
cecile 株式会社セシール
大豊産業株式会社 高松市屋島西町1902-1 TEL.087-841-2345
塚本産業株式会社 高松市成合町2番地 TEL.087-886-1126
帝國製薬株式会社 東かがわ市三本松567番地 TEL.0879-25-2221
TOKIO MARINE NICHIDO 東京海上日動 東京海上日動あんしん生命 香川県高松市古新町3-1 東明ビル TEL.087-822-6001
TUK 東洋羽毛中四国販売（株） 香川営業所
TOKAI 株式会社トーカイ 高松市鶴市町2025-3 TEL.087-882-2222
株式会社日進堂 高松市伏石町2037-18 0120-32-6100
Refresh Salon バンビ 高松市松縄町41-4 TEL.087-816-4455
百十四銀行
FUJITSU 株式会社富士通四国インフォテック
RICE POWER 勇心酒造株式会社 綾歌郡綾川町小野2088-1 TEL.087-876-4111
株式会社讀宣四国 香川県高松市太田上町412-1 TEL.087-888-6133（代）
La Famille フランス菓子工房ラ・ファミーユ 高松市木太町2192 TEL.087-837-5535
SOROPTIMIST 国際ソロプチミスト高松
高松商工会議所女性会
高松中央ライオンズクラブ ライオンズクラブ国際協会336-A地区4R-2Z

MEDICAL INSTITUTE UNION 社会医療法人財団エム・アイ・ユー 麻田総合病院 丸亀市津森町219番地 TEL.0877-23-5555
医療法人社団 たけお会 救急告示 岩佐病院 仲多度郡琴平町榎井775 TEL.0877-73-3535
NTT西日本 高松診療所 予防医療センタ 高松市観光町649-8 TEL.087-839-9620
医療法人社団仁樹会 オサカ病院 高松市香川町浅野272 TEL.087-889-0703
社会医療法人財団 大樹会 総合病院回生病院 坂出市室町三丁目5番28号 TEL.0877-46-1011
KAGAWA ROSAI HOSPITAL 香川労災病院 丸亀市城東町三丁目3番1号 TEL.0877-23-3111
医療法人財団 博仁会 キナシ大林病院 高松市鬼無町藤井435-1 TEL.087-881-3631
医療法人社団英世会 そがわ医院 三豊市豊中町下高野1091 TEL.0875-62-2357
日本赤十字社 高松赤十字病院 高松市番町4丁目1-3
香川医療生活協同組合 高松平和病院 高松市栗林町1丁目4番1号 TEL.087-833-8113 院長 蓮井宏樹
滝宮総合病院 JA香川県厚生農業協同組合連合会 綾歌郡綾川町滝宮486番地 TEL.087-876-1145
たけべ乳腺クリニック 高松市多肥下町365-9 TEL.087-867-0205
医療法人社団和広会 伊達病院 高松市観光町588番地8 TEL.087-831-1701
土庄中央病院 小豆郡土庄町淵崎甲1400-2 TEL.0879-62-1211（代）
三豊市立 西香川病院 三豊市高瀬町比地中2986番地3 TEL.0875-72-5121
医療法人静可会 三加茂田中病院 徳島県三好郡東みよし町加茂1883-4 TEL.0883-82-3700
三豊総合病院 MGH 観音寺市豊浜町姫浜708番地 TEL.0875-52-3366
Miyake Medical Institute Group 財団法人三宅医学研究所 http://www.miyake-or.jp/ セントラルパーククリニック 高松市番町1丁目10番16号 TEL.087-863-4560 陽子レディースクリニック 高松市天神前5番6号 TEL.087-831-2102
笑顔とふれあいの健康ライフ 屋島総合病院 JA香川県厚生農業協同組合連合会 高松市屋島西町1857番地1 TEL.087-841-9141
社会保険 栗林病院 高松市栗林町3丁目5番9号 TEL.087-862-3171
財団法人 香川県総合健診協会（日本対がん協会 香川県支部） 高松市郷東町587-1 TEL.087-881-4867
社団法人 香川県放射線技師会 高松市木太町2367-1 TEL.087-862-2626
公益財団法人 香川県予防医学協会 高松市伏石町2129番地2 TEL.087-868-5555
財団法人 香川成人医学研究所 WELL SPACE 坂出市横津町3丁目2-31 TEL.0877-45-2311
TMA 社団法人 高松市医師会 高松市天神前4番14号 TEL.087-831-2208

ピンクリボンかがわ県協議会
詳しい活動については、こちらから→ ピンクリボンかがわ 検索
事務局／(財)香川県総合健診協会内　香川県高松市郷東町587-1　Tel.087-881-4867
E-mail: jimukyoku@pinkribbon-kagawa.jp
http://www.pinkribbon-kagawa.jp